

環境経営レポート

対象期間 2022年4月1日~2023年3月31日



©環境省
エコアクション21
認証番号 0007548

ASPEC

株式会社 アスペック

2023年6月30日 作成



目次

1. 組織概要	1
2. 認証・登録の対象組織・活動	2-3
3. 主な実績	4
4. 環境経営方針	5
5. 環境経営目標及びその実績	6
6. 環境活動計画	7-12
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	13-22
8. 環境関連法規制の遵守状況	23
9. 代表者による全体の評価と見直し	24



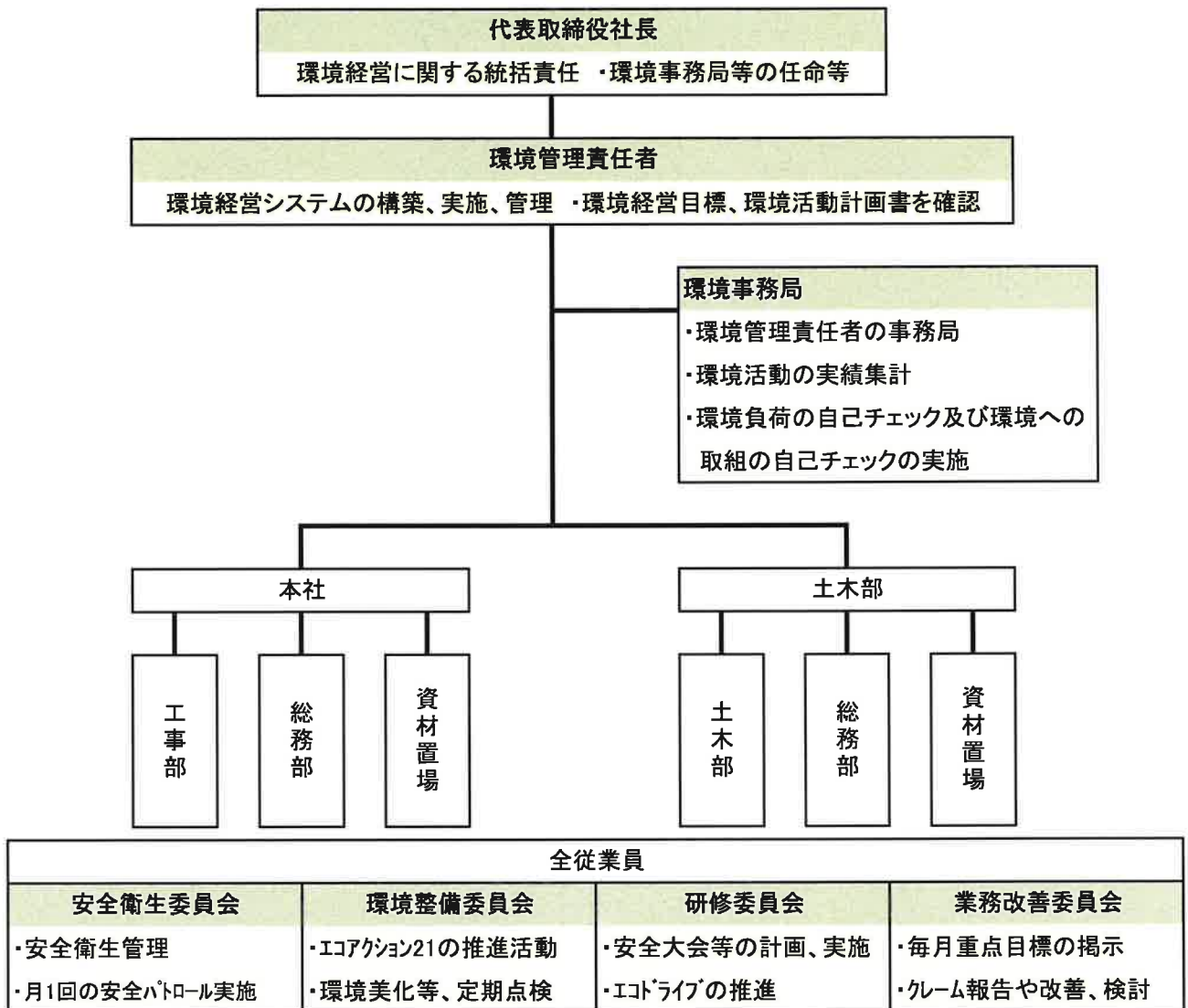
1.組織概要



■ 事業者名及び代表者名	株式会社 アスペック 代表取締役 楠 茂夫		
■ 所在地	本 社	長野県長野市大橋南二丁目15番地	
	土 木 部	長野県長野市南長池478番地1	
	資材置場	長野県長野市真島町真島字梵天東沖1148他	
	資材置場	長野県須坂市八町	
■ 環境管理責任者氏名 及び担当者連絡先	環境管理責任者	荒井勇治	
	担当者及び連絡先	工事部工事課	荒井勇治
		総務部総務課	武田愛加
		土木部総務課	西澤陽子
	本社	電話:026-283-2051	FAX:026-284-8699
	土木部	電話:026-244-1608	FAX:026-259-2986
		HP: http://kk-aspec.co.jp/	
		E-mail: aspec@ec5.technowave.co.jp	
■ 事業内容	建設業 土木工事業・舗装工事業・道路側溝補修及び産業廃棄物の収集運搬業		
■ 事業の規模	平成 4年 1月 1日		
設立年月日	5,000 万円		
資 本 金	1,975 百万円		
売 上 高	第32期(令和4年4月1日～令和5年3月31日)		
従 業 員	36 名		
延べ床面積(本社)	1,139 m ²		
延べ床面積(土木部)	387 m ²		
敷地面積(資材置場)	1,976 m ²		
敷地面積(土木部資材置場)	17,836 m ²		

2. 認証・登録の対象組織・活動

■ 対象組織



2. 認証・登録の対象組織・活動

■ 対象範囲（認証・登録事業者名）

登録事業者名 株式会社アスペック
対象事業所 本社・資材倉庫（常駐者なし）、土木部、全組織・全活動・全従業員を対象
活動範囲 土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業及び産業廃棄物の収集運搬

■ 許可の内容

◆ 建設業

許可番号 長野県知事 特-1 第17532号
許可の有効期限 令和2年2月17日 ～ 令和7年2月16日（令和7年2月16日）
建設業の種類 土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業、産業廃棄物の収集運搬

◆ 産業廃棄物収集運搬業

許可番号 長野県知事 第2008056549号
許可の有効期限 平成30年10月12日 ～ 令和5年10月11日（令和5年10月11日）
産業廃棄物の種類 がれき類、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
（廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く）

■ 施設等の状況

積替え保管 なし
運搬車両の種類と台数

1tトラック	1台	4tダンプ	3台
2tダンプ	3台	8tトラック	1台
3tダンプ	3台	10tダンプ	3台
4tトラック	3台	10tトラック	2台



3.主な実績

■ 環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	531,695	502,487	501,460
電力(事務所)	量 (kWh)	38,065	36,148	35,600
	料金 (円)	845,747	1,063,754	3,246,090
灯油(事務所)	量 (L)	3,887	3,312	3,463
	料金 (円)	350,889	382,964	413,752
ガソリン (現場)	量 (L)	23,825	23,179	22,675
	料金 (円)	3,204,813	3,645,695	3,776,175
軽油(現場)	量 (L)	172,199	161,284	162,127
	料金 (円)	14,703,574	17,738,922	18,264,328
液化石油ガス(LPG) (現場)	量 (kg)	1,874	2,860	2,198
	料金 (円)	408,328	771,747	645,787
廃棄物排出量				
一般廃棄物(事務所)	量 (kg)	1,306	1,059	845
産業廃棄物(現場)	量 (t)	2,965	4,133	4,334
水使用量(事務所)	量 (m3)	622	827	736
ネプラス工法(現場)	千円/年	16,313,000	2,310,000	15,235,000
太陽光発電 (事務所)	kWh/年	32,654	32,157	33,418

※購入電力の排出係数は、R5.1.24環境省・経済産業省公表：「EPA-グリーンリテリング」 0.428 (kg-CO2/kWh)
(令和3年度の実績 調整後排出係数)

4. 環境経営方針

◆ 理念 ◆

アスペックは舗装工事を主とした土木関連事業を通じ、企画提案力と顧客最優先のサービスで地域社会に貢献する建設会社として、当社が掲げる『明るい職場と家庭の繁栄を創造します』の経営理念に繋がる、地球環境の保全を企業活動の最重要使命とします。

◆ 経営方針 ◆

私たちは、これからの地球環境との調和を図れる技術の推進、環境保全が重要課題との認識に立ち、次世代を担うにふさわしい専門工事業者として、環境に配慮した職場づくりと、一人ひとりの社員が主役の環境貢献活動が不可欠であることを念頭に、常に新しい創造性に挑戦し、循環型社会の一翼を担う企業として、自主的・積極的に環境への取り組みを推進します。

また、次世代に繋がる環境活動の推進としてSDGsの目標である「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を達成する為に貢献していきます。

◆ 行動計画 ◆

具体的に次のことに取り組みます。

- 1) 電力・自動車及び重機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 2) 建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再利用化）の推進
- 3) 水資源の節水
- 4) コピー用紙の削減
- 5) 環境に配慮した施工（ネプラス工法）の推進
- 6) SDGs達成に向けた取り組み
- 7) IT・AIの導入





環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。






制定日 2010年10月26日
改定日 2020年7月1日
改定日 2021年8月23日
改定日 2022年6月30日
改定日 2023年7月4日

代表取締役社長 楠 茂夫

5.環境経営目標及びその実績

環境経営目標項目	単位	基準値		今年度	中長期目標		
		2020年度			2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量 	kg-CO2/年	531,695.5	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	521,061.6	515,744.6	510,427.7	505,110.7
			実績	501,459.8	—	—	—
	原単位(kg-CO2/売上高)	259.4	原単位目標	254.2	251.6	249.0	246.4
			原単位実績	254.0	—	—	—
電力使用量 	kWh	38,064.6	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	37,303.3	36,922.7	36,542.0	36,161.4
			実績	35,600.1	—	—	—
	原単位(kg-CO2/売上高)	18.6	原単位目標	18.2	18.0	17.9	17.7
			原単位実績	18.0	—	—	—
灯油使用量 	L	3,887.2	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	3,809.5	3,770.6	3,731.7	3,692.8
			実績	3,463.4	—	—	—
ガソリン使用量 	L	23,824.8	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	23,348.3	23,110.1	22,871.8	22,633.6
			実績	22,675.5	—	—	—
	原単位(L/百万円)	176.9	目標	173.4	171.6	169.8	168.1
			実績	176.8	—	—	—
軽油使用量 	L	172,199.3	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	168,755.3	167,033.3	165,311.3	163,589.3
			実績	162,127.0	—	—	—
	原単位(L/百万円)	1266.7	目標	1,241.4	1,228.7	1,216.0	1,203.4
			実績	1,299.8	—	—	—
液化石油ガス(LPG) 	kg	1,873.9	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	1,836.4	1,817.7	1,798.9	1,780.2
			実績	2,198.2	—	—	—
	原単位(kg/売上高)	13.4	原単位目標	13.2	13.0	12.9	12.7
			原単位実績	19.6	—	—	—
一般廃棄物排出量 	kg	1,306.3	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	1,280.2	1,267.1	1,254.0	1,241.0
			実績	845.2	—	—	—
産業廃棄物排出量 	t	2,965.3	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	2,906.0	2,876.3	2,846.7	2,817.0
			実績	4,334.1	—	—	—
	原単位(t/百万円)	1.4	原単位目標	1.4	1.4	1.3	1.3
			原単位実績	2.2	—	—	—
水使用量 	m3	622.0	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	609.6	603.3	597.1	590.9
			実績	736.0	—	—	—
ネプラス工法 	千円	16,313	増加率	10%	10%	10%	10%
			目標	17,944.3	17,944	17,944	17,944
			実績	15,235.0	—	—	—
太陽光発電発電量	kWh	32,654	実績	33,418.0	—	—	—

6.環境活動計画(詳細)

電力使用量削減    担当部署：総務部


① エアコンの温度管理
 冷房：26℃ サークレータの活用
 暖房：22℃ 冷たい外気が入らないよう、ドアの開け閉めの工夫

② パソコン、プリンター等のスリープモードの活用


③ 昼休み時の消灯
 消灯時間：12時～13時の1時間

④ ノー残業デーの徹底、クールビズの長期化




⑤ 時間外における部分点灯
 時間外勤務時における照明は、必要最小限の範囲のみとする



節電の心がけメッセージ



天井に空気循環用プロペラ設置

灯油使用量削減    担当部署：総務部

①暖房機（ファンヒーター、ストーブ）の温度管理

使用期間	温度
11月～4月	22℃以下


②灯油の給油時期の管理と使用前のフィルター等の清掃

③不使用時の電源オフ




使用しない期間	5月～10月
---------	--------

④ウォームビズの実施

⑤ブラインドの調節で太陽光を有効利用する



設定温度掲示

ガソリン・軽油使用量削減    担当部署：工事部

①車両の適正運転（エコドライブの推進）
 現場に見合った重機の選定、不必要な道具の積載禁止で車体を軽くする努力をする
 タイヤの空気圧のチェック
 環境に配慮した運転「エコドライブ」で燃費を向上させ、二酸化炭素などの排出量を減らす

②アイドリングストップの励行


③車両・建設機械の定期点検
 定期的な点検整備をして、燃費と安全性を向上させる
 オイル交換をこまめにして、燃費を向上させる

④効率的なルートを選択
 カーナビの積極的な利用で、効率的な営業ルートの策定をする

⑤建設機械の対策型機種の優先使用と購入の検討

⑥機械操作の向上

⑦ハイブリッド車に全車変更



エコドライブ講習会

一般廃棄物排出量削減



担当部署：総務部

①ごみの排出量の把握と管理

把握方法	ごみの回収前に必ず計量
------	-------------

②ペーパーレス化

複写機の機能（スキャナ機能、両面・集約印刷）を積極的に利用する
 Faxをデータ受信。必要な物だけプリントアウトする
 パソコンからの印刷の前にプレビュー画面で確認してから印刷してミスコピーの削減に努める

③リサイクルの徹底

社内書類は裏紙（機密文書は除く）を使用する
 両面使用済の用紙はリサイクルにまわす
 社内文書は使用済み封筒を再使用する
 メモ用紙やスクラップ台紙への利用



古封筒再利用

④ごみの分別の徹底

従業員の分別意識が向上するよう、分かりやすくポスターなどを掲示
 法定保存年限が経過した帳簿書類等は、随時処分する



コピー用紙再利用

⑤ゴミを持ち込まない

マイカップの利用や、再利用できる容器の使用（お弁当箱等）

廃棄物の重量の視覚化

ごみ分別時に重量を計測し表に記入することで、数値を視覚化する

産業廃棄物排出量削減



担当部署：工務部

①廃棄物の適正処理

マニフェストにより適正処理し、許可を受けた産廃処理委託業者に引き渡す

②産廃排出量の把握

把握方法	産業廃棄物管理票（マニフェスト）による把握
------	-----------------------

③分別のルール

現場	施工場所で分別してから運ぶ
第1資材ヤード	燃えるもの、廃プラ、木くず、金属くずに分ける

④3R活動

Reduce(リデュース)：減らす Reuse(リユース)：再利用する Recycle(リサイクル)：再資源化する

水使用量削減



担当部署：総務部

① 日常的な節水

節水のステッカーを貼り、節水の意識を高める

② 井戸水のメーターの管理

③ 水漏れの点検と管理

総務部で点検を行い、水漏れ等の不具合があった場合はすぐに対応する

④ 使用後は確実に栓を締める。水量を抑えるために元栓の調整をする



節水呼びかけメッセージ

ネプラス工法の推進



担当部署：工務部

① 受注先、現場でのネプラス工法の提案

公共工事	道路改良工事、側溝改良工事、道路維持修繕工事等
環境	建設廃材80%削減、掘削残土は100%削減、CO2排出量77%削減
リサイクル	側溝の使える部分（上部以外の部分）は利用

② ホームページで情報の公開

当社ホームページ <http://kk-aspec.co.jp> にて施工実績やネプラス工法について詳しく掲載

③ ネプラス工法の講習会への参加

講習会に出席することで、業界内での情報交換などを行う



側溝の痛んだ部分だけ取り除き使える部分は利用する



太陽光発電 電力量の把握



担当部署：総務部



① 社屋2F・3F屋根に太陽光パネルが設置されている

208.4W × 129枚

② 毎月の電力量・売電金額を把握していく





6.環境活動計画(その他)

タブレット端末導入   担当部署：総務部

必要なデータをクラウド（BOX）に保管。会社外からでも必要なデータを見たり、書き込んだりすることが出来るようにした。
移動の時間を省き、効率よく業務を遂行し生産性を上げる。

2020年度売上高	2021年度売上高
2,050,000,000円	2,163,000,000円


113,000,000円増加

manifestoの電子化   担当部署：総務部

manifesto情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターを介したネットワークでやり取りする。
印刷作業がなくなることで、業務効率が上がる。

2020年度使用件数	2022年度使用件数
11件	26件

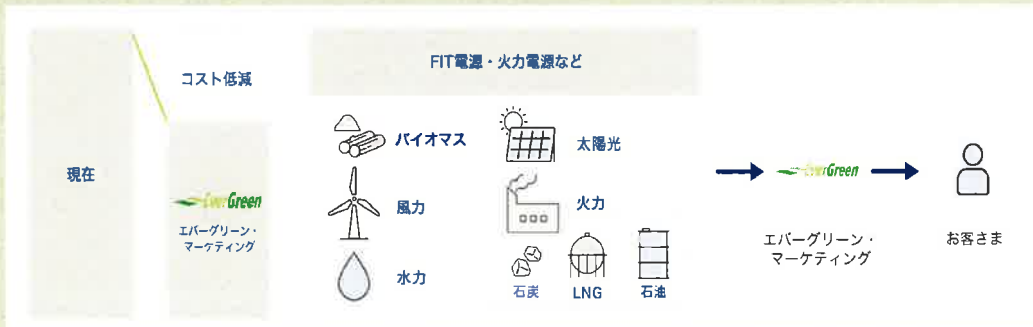
15件増加

電力料金の削減  担当部署：総務部

購入電力会社をイーレックス㈱（エバーグリーン・リテイリング㈱）にすることによりコスト削減

2018年度電気代	2020年度電気代
1,098,810円	535,593円

563,217円削減



現在

コスト低減

エバーグリーン・マーケティング

FIT電源・火力電源など

- バイオマス
- 風力
- 水力
- 太陽光
- 火力
- 石炭
- LNG
- 石油

エバーグリーン・マーケティング

お客さま

企業活動を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に意欲的に取り組む企業等を登録・PRする長野県独自の制度



SDGs達成に向けた経営方針

弊社の経営理念である

「私たちは企画提案力を最大限発揮し顧客最優先のサービスで地域社会に貢献すると共に、明るい職場と家庭の繁栄を創造します」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを自覚してそれぞれの役割を果たしていくことによりSDGsの達成に貢献していきます。

SDGs達成に向けた重点的な取組

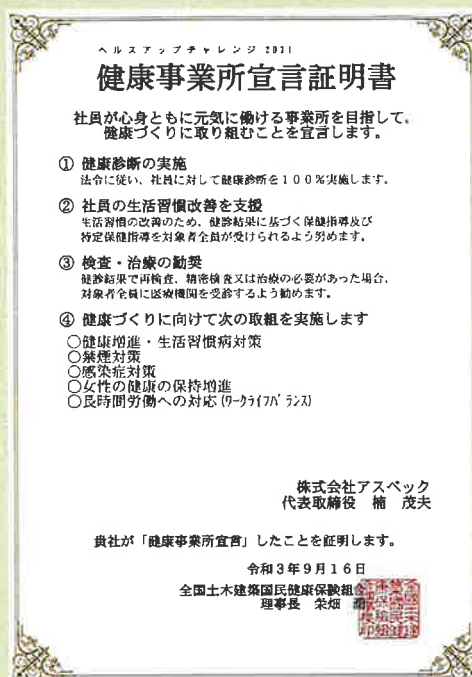
重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況 (2023年3月31日現在)
エコアクション21の活動に沿ったCO2の削減	CO2排出量の20%削減	2020年度：531,685 kg-CO2 ↓ 2022年度：501,459 kg-CO2
ネプラス工法の普及（コスト低減・省資源・省エネ・工事期間の短縮）	年間受注件数 10件	年間受注件数⇒5件
労働生産性向上に繋がる合理化手法の導入件数	IT・AI等の導入含め5件	特になし



健康経営優良法人認定



社員とその家族が安心して幸せに暮らしていけるような仕組みを作りたいという思いから「健康経営」の取組を進めてきました。
「ヘルスアップチャレンジ」宣言をし、社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して活動しています。



地域貢献

長野市消防団協力事業所表示制度

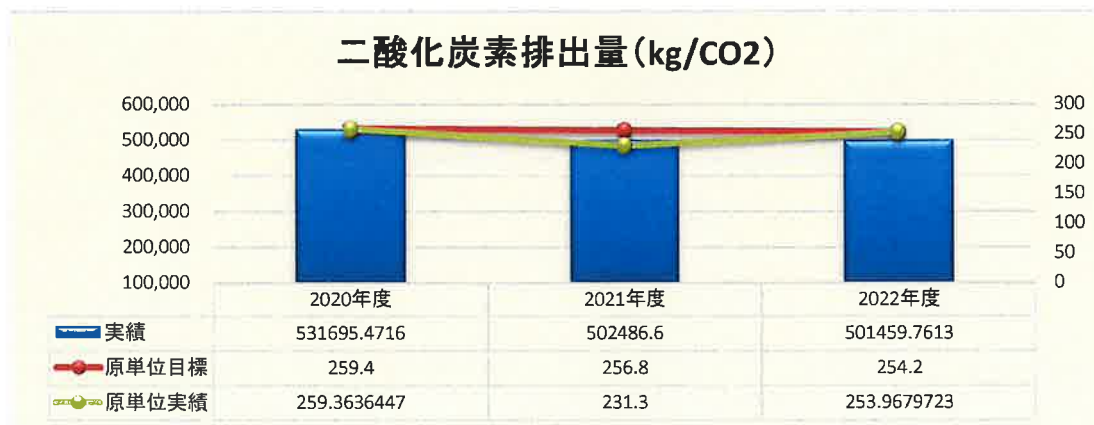
地域の一員として、地域活動を通じて地域との交流を深めると共に、災害発生時には、防災活動に協力します。消防団員の活動しやすい環境を整えています



7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



■ 総量 ■

目標	実績	達成率	評価
521,061.6 kg-CO ₂ /年	501,459.8 kg-CO ₂ /年	103.9%	達成

■ 原単位 ■

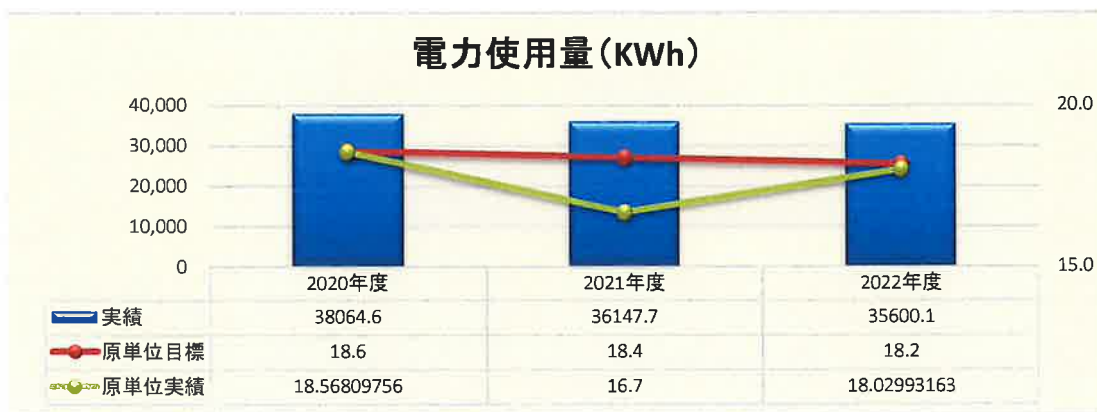
目標	実績	達成率	評価
254.2 kg-CO ₂ /百万円	254.0 kg-CO ₂ /百万円	100.1%	達成

◆ 取組結果

目標を達成することができた。売上高が減少したため、それに比例し排出量も減少した。原単位実績は昨年度と比較すると増加してしまった。

◆ 次年度の取組

- ・講習会などを継続して行い、社員一人一人の意識を高める。
- ・古い車両や重機の更新、ハイブリット車への買い替えを順次進めていく。



総量

目標	実績	達成率	評価
37,303.3 kWh	35,600.1 kWh	104.8%	達成

原単位

目標	実績	達成率	評価
18.2 kWh/百万円	18.0 kWh/百万円	101.1%	達成

◆取組結果

目標を達成することができた。
 昨年度と比較すると換気の回数が減り、サーキュレーター等を活用したことで冷房効率が良くなり全体的に使用量を削減することができた。

◆次年度の取組

- ・設定温度の徹底、エアコンフィルターの清掃を行う。
- ・所定労働時間内での業務ができるように効率の良い割り振りや、日程調整をする。
- ・省エネ機器へ入れ替える
- ・クールビズ・ウォームビズの実施する。
- ・不使用時は電源を切る。

灯油使用量削減

取組目標：基準年度実績より**2%減**



総量

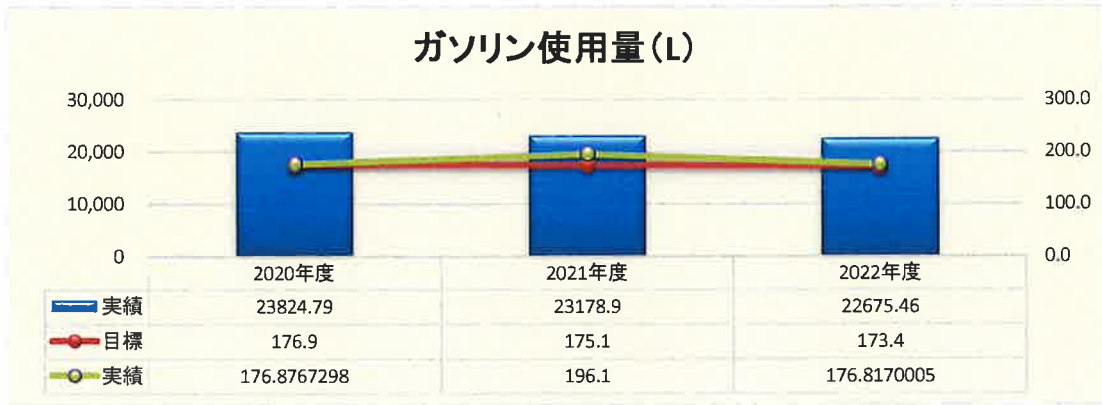
目標	実績	達成率	評価
3,809.5 (L)	3,463.4 (L)	110.0%	

◆取組結果

目標を達成することができた。
灯油を切らしてしまい再度点火することで多く消費してしまったため、昨年度と比較すると使用量が増加してしまった。

◆次年度の取組

- ・設定温度の管理を徹底する。
- ・暖房機器の点検清掃をこまめに行う。
- ・不使用時は電源を切る。
- ・ブラインドを調節し、太陽光を有効活用する。
- ・ウォームビズの実施等徹底していく。
- ・灯油の残量の管理を徹底していく。



■ 総量 ■

目標	実績	達成率	評価
23,348.3 (L)	22,675.5 (L)	103.0%	達成

■ 原単位 ■

目標	実績	達成率	評価
173.4 (L/百万円)	176.8 (L/百万円)	98.1%	×

◆ 取組結果

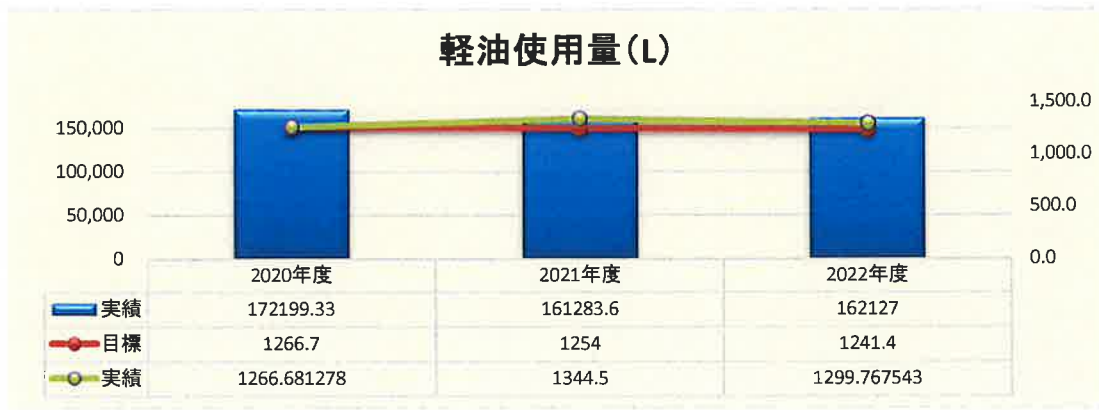
原単位では目標を達成することはできなかったが、総量は削減することができた。

◆ 次年度の取組

- ・車両や重機の適正運転（エコドライブ）を推進していく。
- ・ unnecessary 道具を乗せないなど車体の軽量化を心掛ける。
- ・カーナビの積極的利用による効率的なルートの算定等を徹底する。

軽油使用量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



■ 総量 ■

目標	実績	達成率	評価
168,755.3 (L)	162,127.0 (L)	104.1%	

■ 原単位 ■

目標	実績	達成率	評価
1,241.4 (L/百万円)	1,299.8 (L/百万円)	95.5%	×

◆ 取組結果

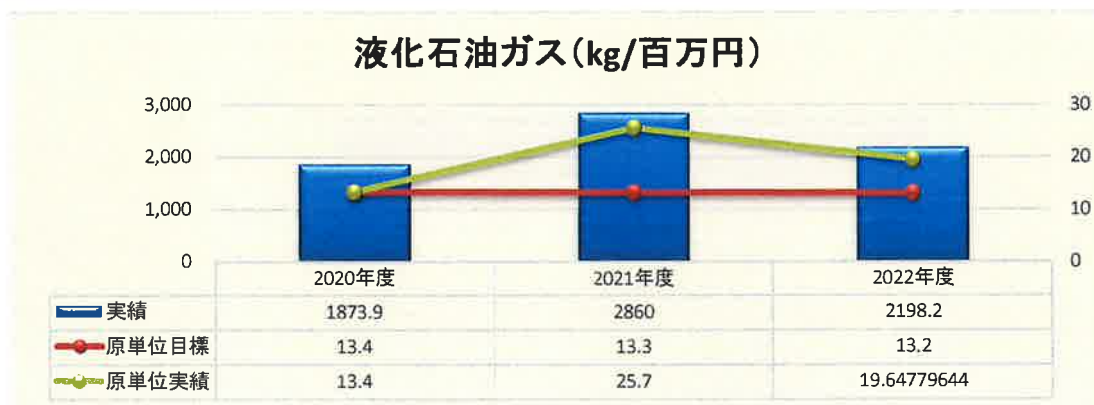
総量は目標を達成することができたが、原単位では目標を達成することができなかった。大型ダンプでの長距離の移動や重機を使う機会が増えたため、それに伴い軽油使用量も増加した。

◆ 次年度の取組

- ・ 車両や重機の適正運転（エコドライブ）を推進していく。
- ・ カーナビの積極的利用による効率的なルートの算定等を徹底する。
- ・ 排出ガス対策型機械の優先使用と購入を推進していく。

液化石油ガス (LPG) 使用量削減

取組目標：基準年度実績より**2%減**



■ 総量 ■

目標	実績	達成率	評価
1,836.4 (kg)	2,198.2 (kg)	83.5%	×

■ 原単位 ■

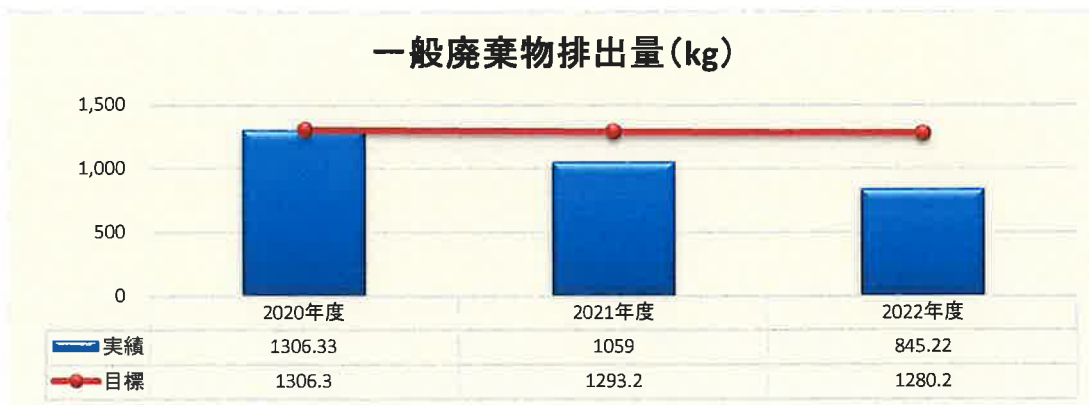
目標	実績	達成率	評価
13.2 (kg/百万円)	19.6 (kg/百万円)	67.3%	×

◆ 取組結果

目標を達成することができなかった。
冬季の工事が多かったため、ガスバーナーなどの使用が増え、液化石油ガスの使用量も増加した。

◆ 次年度の取組

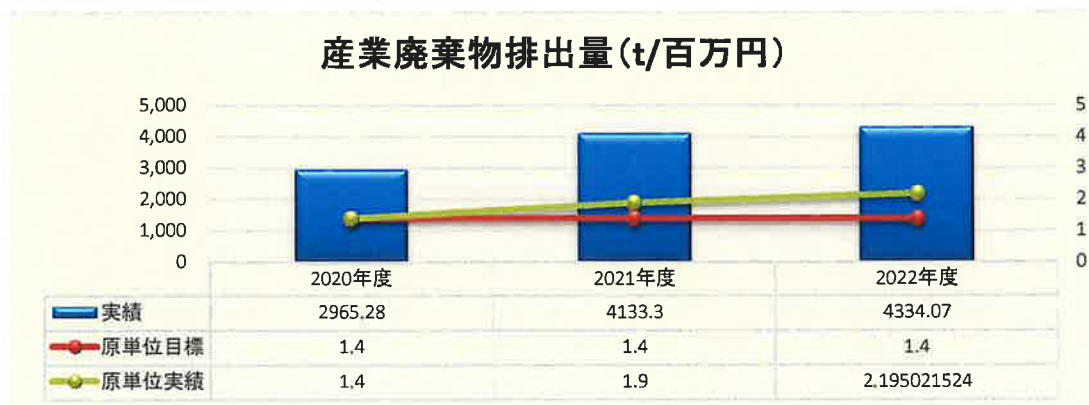
・ 使用時に節約を意識する。



■ 総量 ■

目標 1,280.2 (kg)	→	実績 845.2 (kg)	達成率 151.5%	評価
-----------------------	---	---------------------	----------------------	--------

<p>◆取組結果 目標を達成することができた。 ペーパーレス化に積極的に取り組むことで、排出量を削減することができた。</p>	<p>◆次年度の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化を推進していく。 ・ゴミの分別の徹底をしていく。 ・ミスコピーを減らす。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



■ 総量 ■

目標	実績	達成率	評価
2,906.0 (t)	4,334.1 (t)	67.0%	×

■ 原単位 ■

目標	実績	達成率	評価
1.4 (t/百万円)	2.2 (t/百万円)	63.6%	×

◆ 取組結果

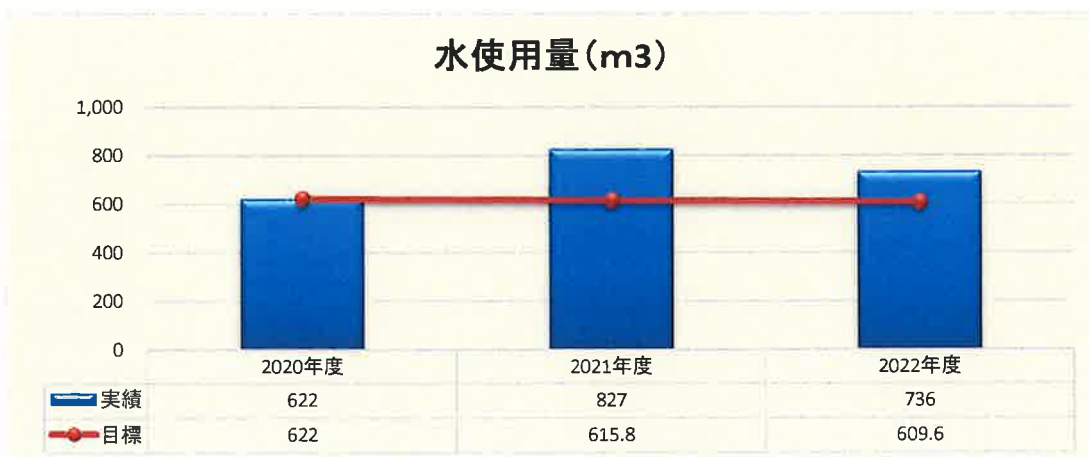
目標を達成することができなかった。昨年度に比べ工事件数が多かったため、それに比例して排出量も増加してしまった。

◆ 次年度の取組

- ・安全パトロールでの確認を行い、引き続き削減に努めていく。
- ・廃棄物の適正処理、産廃排出量の把握、3R運動分別のルールの周知徹底をしていく。

水使用量削減

取組目標：基準年度実績より**2%減**



■総量■

目標	実績	達成率	評価
609.6 (m3)	736.0 (m3)	82.8%	×

◆取組結果

目標を達成することはできなかったが、昨年度と比較すると使用量を減らすことができた。

◆次年度の取組

- ・日常的に節水を意識する。
- ・水漏れの点検と管理をこまめに行う。
- ・元栓を調整し水量を抑制する。

ネプラス工法の推進

取組目標：基準年度実績より**10%増**



■総額■

目標	実績	達成率	評価
16,639.3 (千円)	15,235.0 (千円)	91.6%	×

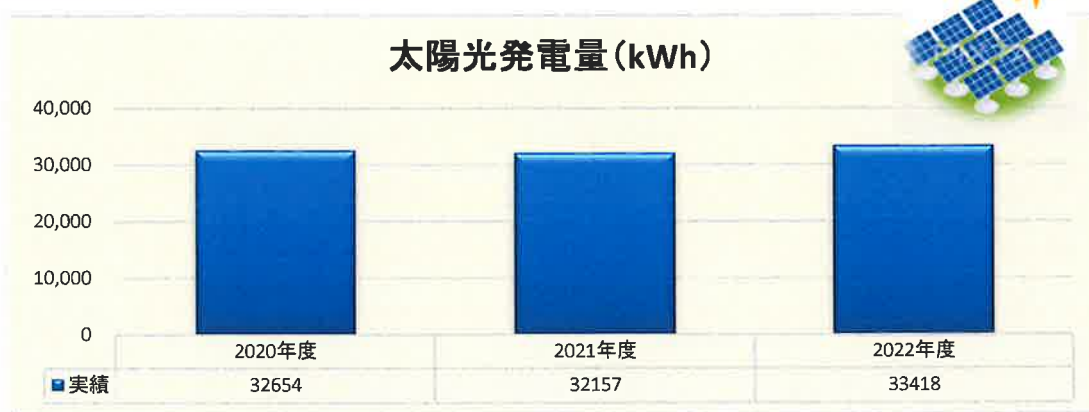
◆取組結果

目標を達成することはできなかったが、昨年度と比較すると受注件数が増えた。

◆次年度の取組

- ・現場等でのネプラス工法の提案をする。
- ・パンフレット等で宣伝をする。
- ・ホームページで積極的にPRしていく。

太陽光発電量



■ 総量 ■

◆ 取組結果

天候に左右されるため目標値は持たないが、売電量を知ることによって自然エネルギーへの関心を高める。

◆ 次年度の取組

- ・引き続きデータの集計をしていく。

8. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法	要求事項	遵守状況の確認及び評価の結果
廃棄物処理法	委託契約の書面	○
	マニフェストの管理	○
	実績報告書	○
	産業廃棄物収集運搬業許可証 (平成30年10月12日 更新許可)	○
資源有効利用促進法	再生資源利用促進計画書	○
建設リサイクル法	対象工事における再資源化等報告書	○
騒音規制法	特定建設作業実施届出書	○
振動規制法	特定建設作業実施届出書	○
フロン排出抑制法	簡易点検表による管理	○
自動車リサイクル法	引き渡し時における適正な処理 (リサイクル券)	○
家電リサイクル法	引き渡し時における適正な処理 (リサイクル券)	○
消防法	少量危険物の管理	○

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規の遵守状況は、6月に環境管理責任者を中心として確認し調べた結果、環境法規への違反はありませんでした。

また過去3年間違反・訴訟の無いことを報告します。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

● 全体評価

(1)	環境経営方針 環境経営方針については変更ありません。
(2)	環境関連法規等の遵守状況 法規等の遵守評価については問題ありません。
(3)	環境経営目標の達成状況 二酸化炭素排出量・電力使用量・灯油使用量は削減目標を達成できたが、ガソリン使用量・軽油使用量・水使用量は達成できなかったため今後も削減に努めていく。 ノー残業デーの励行、休日出勤の廃止をさらに取り組んでいく。
(4)	環境活動計画の実施状況 スケジュール通りに実施されています。
(5)	外部からの苦情等への対応 令和2年9月以降、特にありません。
(6)	その他 特にありません。

● 見直しの結果

- 昨年度同様、化石燃料削減に向け、手直し工事ゼロを目標に施工を行っていく。
- 各自の技能向上により、作業効率をあげ、CO2排出量の少ない工事を目指す。
- 使用機械や車両のハイブリッド車・低排出ガス機械等への買い替えを進めていく。
- 残業の圧縮努力や休日の増加により、環境負荷を減少させる。
総労働時間が減ったことで、生産性が落ちることのないように、無駄を省いて、効率の良い作業をする。
- ガソリン・液化石油ガス使用量の削減が未達成のままだが
昨年度との比較では削減できているため、今後も意識して削減に取り組んでいく。
- 社員とその家族が健康に過ごしていけるよう健康経営に力をいれていく。
- 全体を通して目標の達成ができているので引き続き取り組みを意識していく。